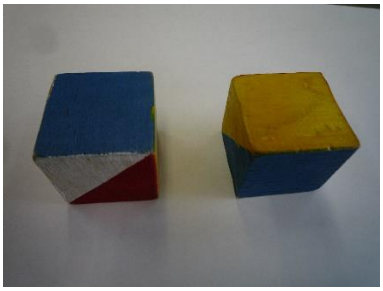
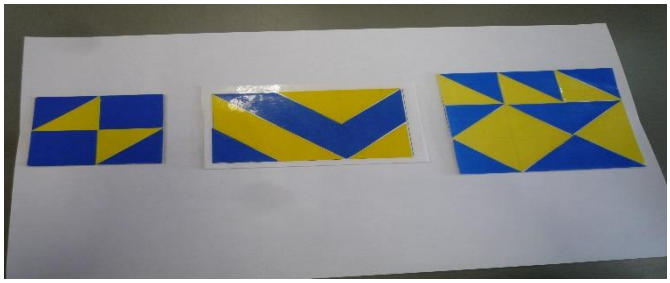
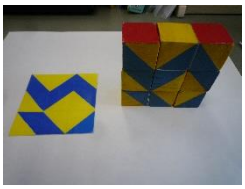
【　１３７　】

テーマ 支援の目的	「積木パズル」 空間認知力を育てる。 積木という立体を生かし、目と手の協応動作力を育てる。 集中力を養う。
使用方法	算数の授業の中で図形の学習として行う。 形のパターンを見せて、積木を並べてパターンと同じ形を作る。 児童の能力に合わせて、難易度を変える。（パターンや並べ方）
写　真	○積木の色と形  ○パターンの難易度を変える  （積木の数）４個　→　６個　→　９個 簡　→　難 ○並べ方（提示方法）を変える パターンの上に置く　横に並べる　縦に積む  簡　→　難

【問い合わせ】　特別支援教育相談研究室　０５６１－３８－９５１７